

作成日 2016年01月07日

改訂日 —

安全データシート (SDS)

1. 化学品及び会社情報

製品名： エリムバイオ CB-10 (B剤)

会社名： オルガノ株式会社

住所： 東京都江東区新砂 1-2-8

担当部門： 機能商品事業部

電話番号： 03-5635-5214

FAX 番号： 03-3699-7244

推奨用途及び使用上の制限： 化学洗浄剤

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性：	爆発物	—
	可燃性又は引火性ガス (化学的に不安定なガスを含む)	—
	エアゾール	—
	支燃性又は酸化性ガス	—
	高压ガス	—
	引火性液体	—
	可燃性固体	—
	自己反応性化学品	区分外
	自然発火性液体	—
	自然発火性固体	—
	自己発熱性化学品	—
	水反応可燃性化学品	区分外
	酸化性液体	—
	酸化性固体	—
	有機過酸化物	—
	金属腐食性化学品	区分1
健康に対する有害性：	急性毒性（経口）	区分4
	急性毒性（経皮）	—
	急性毒性（吸入：ガス）	—
	急性毒性（吸入：蒸気）	—
	急性毒性（吸入：粉じん）	—
	急性毒性（吸入：ミスト）	—
	皮膚腐食性及び刺激性	区分1
	眼に対する重篤な損傷 又は眼刺激性	区分1
	呼吸器感作性	—
	皮膚感作性	—
	生殖細胞変異原性	—
	発がん性	—
	生殖毒性	—
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	—
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	—
	吸引性呼吸器有害性	—
	環境に対する有害性：	
	水生環境有害性（急性）	区分2

水生環境有害性（長期間） —

オゾン層への有害性 —

＊上記の「—」は分類対象外又は分類できないことを示す。

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル：



注意喚起語 ： 危険

危険有害性情報 ：

- ・ 金属腐食のおそれ
- ・ 飲み込むと有害
- ・ 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
- ・ 水生生物に毒性

注意書き： 【安全対策】 ・ 使用前に安全データシート(SDS)を入手し、全ての安全注意を理解するまで取り扱わないこと。

- ・ (安易に) 他の容器に移し替えないこと。
- ・ 保護手袋／保護眼鏡／保護面／保護衣を着用すること。
- ・ この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。
- ・ 取扱い後はよく手を洗い、うがいをする。
- ・ ミストを吸入しないこと。
- ・ (必要なとき以外は) 環境への放出を避けること。

【応急措置】 ・ 物的被害を防止するため流出したものを吸収すること。

・ 吸入した場合：直ちに空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。異常がある場合は医師の診断／手当を受けること。

・ 飲み込んだ場合：口をすすぎ、直ちに医師の診断を受けること。無理に吐かせないこと。

・ 眼に入った場合：直ちに水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、洗浄を続けること。直ちに医師の診断／手当を受けること。

・ ばく露又はばく露の懸念がある場合、異常がある場合：医師の診断／手当を受けること。

・ 皮膚や衣服に付着した場合：皮膚を多量の流水／シャワーで洗うこと。皮膚刺激が生じた場合、医師の診断／手当を受けること。

・ 汚染された衣服を脱ぎ、再使用する場合には十分洗濯をすること。

【保管】 ・ 耐腐食性／耐腐食性内張りのある容器で保管すること。

・ 容器を密閉して換気の良い場所で、施錠して保管すること。

【廃棄】 ・ 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

【その他】 ・ 目的用途以外に使用しないでください。

・ 酸性製品や異物を併用・混合しないでください。有害ガスが発生し大変危険です。

GHS分類に該当しない ： 酸と接触したり pH が低下すると、有害な塩素ガスを発生するので、他の危険有害性 注意が必要。

薄いポリエチレン容器での長期保存は避けること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分 ： 単一製品

化学名又は一般名 等 ： 無機ハロゲン系化合物の水溶液

成分	濃度 (%)	化学式	官報公示整理番号		CAS No.
			化審法	安衛法	
無機ハロゲン系化合物	6 以上	非公開	非公開	非公開	非公開
水	残部	H ₂ O	—	—	7732-18-5

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 分解して発生した塩素ガスを吸入した場合 :
直ちに空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。呼吸が止まっている場合は、衣服をゆるめ呼吸気道を確保した上で人工呼吸を行う。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに汚染された衣服をすべて脱ぎ、皮膚を流水／シャワーで洗うこと。炎症等、異常を感じた場合は速やかに医師の手当てを受けること。
- 目に入った場合 : 直ちに充分な水で 15 分以上注意深く洗うこと。速やかに医師の診断を受けること。洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行きわたるように洗浄する。
コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り、取り除いて洗浄を続ける。
- 飲み込んだ場合 : 口をすすぎ、直ちに医師の診断を受けること。無理に吐かせないこと。意識がない場合は口から何も与えてはならない。
- 応急措置をする者の保護 : 救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。
汚染された衣類や保護具を取り除く。救助者が有害物に触れないよう手袋を使用するなど注意する。被災者が本製品を飲み込んだ場合、人工呼吸は口対口法を用いてはいけない。逆流防止バルブのついたポケットマウスや他の適切な医療用呼吸器を用いる。
- 医師に対する特別な注意事項 : 塩素ガスの吸入による影響（肺水腫の症状等）は遅れて現れる場合が多く、安静を保たないと悪化する。安静と経過観察が不可欠。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 大量の水
- 使ってはならない : 酸との接触により有害な塩素ガスが発生するので、炭酸ガス、酸性の粉末消火剤は避ける。
- 火災時の特有の危険有害性 : この製品自体は、燃焼しない。
- 特有の消火方法 : 消火作業は風上から行う。
火災発生場所周辺は関係者以外の立ち入りを禁止する。
移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。
移動不可能な場合には容器および周囲に散水して冷却する。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業は、耐熱手袋、ゴーグル型反故眼鏡、空気呼吸器を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 漏出場所周辺にロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。
- 保護具及び緊急時措置 : 適切な保護具を着用し、飛沫等の皮膚付着やガス吸入を防止する。「8. 暴露防止及び保護措置」を参照のこと。
- 環境に対する注意事項 : 漏出した製品が直接河川等環境中に排出されないように注意する。
- 封じ込め及び浄化の方法・機材 : 少量の場合はオガクズ、ウエス等に吸収させて、大量の場合は盛り土等で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。回収物は十分に希釈し、亜硫酸ソーダ水溶液で分解した後、多量の水で洗い流す。この場合、濃厚な廃液が下水溝、河川等へ流入しないように注意する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 漏れ、あふれ、飛散しないようにし、みだりにミストを発生させない。目、皮膚、衣類に触れないように、適切な設備対策を行い、保護具を着用する。「8. 暴露防止及び保護措置」を参照のこと。
- 局所排気・全体換気 : 必要に応じて局所排気、全体換気を行う。
「8. 暴露防止及び保護措置」を参照のこと。
- 注意事項 : 屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
2 項の「危険有害性情報」を熟知し、人体との接触を避けること。
可燃物、アセチレン、エチレン、水素、アンモニア、金属との接触禁止。
- 安全取扱い注意事項 : 作業中に温度が上昇したり、重金属類の混入があると、分解し酸素ガスを発生する。酸と接触したり、pHが低下すると、塩素ガスが発生するので注意が必要である。取扱い後は容器を密閉し、手、顔等をよく洗い、うがいをする。

保管

- 技術的対策 : 容器を密閉して直射日光を避け、換気のよい冷暗所に保管する。
重金属類（コバルト、ニッケル、クロム、銅、鉄など）により分解を促進するため、貯蔵する容器内にこれらの重金属が混入しないようにする。
- 適切な保管条件 : 「10. 安定性・反応性」を参照し、混触危険物質との接触を禁止する。酸、金属類、可燃物等から離して保管する。
- 安全な容器包装材料 : 金属類、天然繊維の多くを侵す。腐食性があるので鉄製の容器は使用しない。塩ビ、ポリエチレン、チタン等を使用する。
ただし容器割れや漏液が発生する可能性があるため、バッグインボックスのような薄いポリエチレン容器での長期保存は避けること。

8. 暴露防止及び保護措置

- 設備対策 : 作業場近くに安全シャワー、手洗・洗眼設備を設け、位置を明示する。
ヒュームやミストが発生する場合には、局所排気装置を設置する。
- 管理濃度 : 設定なし
- 許容濃度 : 設定なし
- 保護具 : 呼吸器用の保護具 : ミスト等が発生する場合には、送気マスクを使用する。ハロゲンガス用防毒マスク、送気マスク、空気呼吸器等。
手の保護具 : 不浸透性の保護手袋（ゴム手袋等）
目の保護具 : ゴーグル型保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具 : ビニール製保護衣。ゴム製保護長靴
- 適切な衛生対策 : 作業後、手をよく洗い、うがいをしてから、飲食等をする。

9. 物理的及び化学的性質

- 外観 : 淡黄色液体
- 臭い : 塩素臭
- pH : 12～13(原液)
- 融点／凝固点 : データなし
- 引火点 : データなし
- 自然発火温度 : データなし
- 燃焼又は爆発範囲 : データなし
- 蒸気圧 : データなし
- 蒸気密度 : データなし
- 比重 : 約 1.05(20℃)
- 溶解性 : 水と任意の割合で溶解
- オクタノール／水分配係数 : データなし
- 分解温度 : データなし

10. 安定性及び反応性

- 安定性 : 空気、熱、光、金属などに不安定で、放置すると徐々に分解し、酸素ガスを発生する。
- 危険有害反応可能性 : 自己反応性、爆発性なし。
- 避けるべき条件 : 腐食性があるので鉄製の容器は使用しない。
- 混触危険物質 : アミン類、アンモニアと反応して有害で爆発性の三塩化窒素を発生する。酸との接触やpH低下により塩素ガスを発生する。
- 危険有害な分解生成物 : 塩素ガス

11. 有害性情報

- 急性毒性 : (無機ハロゲン系化合物)
LD50=6.8ml/kg (マウス、雄、経口) (有効塩素 10%)
LD50=5.8ml/kg (マウス、雌、経口) (有効塩素 10%)
幼児経口致死量 15~30ml (5%液)
- 皮膚腐食性/刺激性 : (無機ハロゲン系化合物)
重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
- 眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 : (無機ハロゲン系化合物)
重篤な眼の損傷
- 呼吸器感作性 : データなし
- 又は皮膚感作性
- 生殖細胞変異原性 (変異原性) : (無機ハロゲン系化合物)
エームステスト=陰性
染色体異常試験=陽性
小核試験(マウス)=陰性
微生物(サルモネラ菌(-S9))=陽性
- 発がん性 : データなし
- 生殖毒性 : データなし
- 特定標的臓器毒性(単回暴露) : データなし
- 特定標的臓器毒性(単回暴露) : データなし
- 吸引性呼吸器有害性 : (無機ハロゲン系化合物)
ミストを吸収すると気道粘膜を刺激し、しわがれ声、咽頭部の灼熱感、疼痛、激しい咳、肺浮腫を生ずる。

12. 環境影響情報

- 生態毒性 : (無機ハロゲン系化合物)
魚類 : LC50=5.9mg/ l (96h) (ファットヘッドミノー)
甲殻類 : LC50=52.0mg/ l (96h) (グラスシュリンプ)
藻類 : データなし
- 残留性/分解性 : データなし
- 生態蓄積性 : データなし
- 土壤中の移動性 : データなし
- 他の有害影響 : 知見のない項目が多いので、一般環境内への廃棄は行わない。

13. 廃棄上の注意

産業廃棄物として都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託処理する。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処理する。汚染容器の廃棄を委託する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物の収集運搬業者及び処理業者に委託処理する。

14. 輸送上の注意

- 国際規制 : 以下の通り
- 国連分類 : クラス 8 (腐食性物質)
- 国連番号 : 1791

品名（国連輸送名）	： 次亜塩素酸塩（水溶液）〔さらし液、次亜塩素酸ナトリウム 次亜塩素酸 カウ等〕
容器等級	： III
海洋汚染物質	： 有害液体物質 Y類
輸送の特定の 安全対策及び条件	： 容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう に積み込み、漏洩及び荷崩れ防止を確実にを行う。 該当法規に従い、包装、表示、輸送を行う。
緊急時応急措置指針番号	： 154

15. 適用法令

消防法	： 非該当
毒劇物取締法	： 非該当
化管法(PRTR 法)	： 第1種指定化学物質：非該当 第2種指定化学物質：非該当
労働安全衛生法	： 表示物質：非該当 通知物質：非該当 危険物 酸化性の物
危規則	： 腐食性物質
港則法	： 腐食性物質
海洋汚染防止法	： 有害液体物質 Y類
航空法	： 腐食性物質

16. その他の情報

- ・本データシートは、製品の安全な取扱いのための情報として、現時点で入手できる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性や完全性を保証するものではありません。
- ・本データシートは、新たな知見に基づき改訂されることがあります。
- ・本データシートは、本製品用途における通常の取扱いを対象としたものであり、特殊な取扱いの場合は用途・用法に則した安全対策を実施してください。
- ・本データシートは日本国内向けに作成したものです。
日本以外で使用する場合は、その国での法律・規制等を確認してください。